

日本画とらべる



横山大観《流燈》(部分) 1909年 茨城県近代美術館蔵

茨城県近代美術館

珠玉のコレクション

好きは直観で決める派です。

2026年4月29日(水・祝)～6月28日(日)

- 開館時間=午前9時30分～午後6時(入室は午後5時30分まで) ○ 休館日=月曜日(5月4日は開館)、5月7日(木)
- 主催=富山県、日本画とらべる展実行委員会(富山県水墨美術館、富山テレビ放送) ○ 共催=北日本新聞社
- 協賛=大谷製鉄、北日本物産、五万石、トナミ運輸、トヨタカローラ富山、姫野精工所、リードケミカル(五十音順)
- 特別協力=茨城県近代美術館

富山県水墨美術館

THE SUIBOKU MUSEUM TOYAMA

さあ、知らなかった日本画を旅する季節です。

茨城県近代美術館は、昭和63年(1988)、水戸偕楽園のほとりに開館し、今日に至るまで国内外の近代美術の名品を多く収集・展示しています。特に明治期以降、日本画の新たな可能性を切り拓いた横山大観・菱田春草や、郷土ゆかりの小川芋銭・木村武山などをはじめ、近代日本画の発展に大きく貢献した作家たちの体系的なコレクションを収蔵し、日本美術史上の重要な作品を網羅しています。また、岡倉天心が創設し日本画の表現研究を推し進めた日本美術院も、一時は北茨城の五浦に本拠地を置いており、茨城県は近代の日本美術を語るうえで欠かせない土地なのです。

本展では、茨城県近代美術館所蔵の珠玉のコレクションを通じて、近代日本画の輝かしい作品たちをご高覧いただきます。花鳥や風景、絵をとりまく物語など、様々な場所へ旅をするように、視点を変えながら日本画の世界をお楽しみください。



関連行事

① 講演会

「大観の愛した日本酒

～酔心山根本店・山根雄一氏トークショー」

5月2日(土) 午前11時～、午後2時～ ※申込不要

講師＝山根雄一氏(株式会社酔心山根本店 社長)

会場＝映像ホール 定員＝各回70名

② 日本画ワークショップ+スペシャルギャラリートーク

講師＝高島圭史氏

(東京藝術大学美術学部教授、日本美術院同人)

・「出品作家に学ぶ 日本画のつくりかた」

5月4日(月・祝)、5日(火・祝) 各日午後2時～

会場＝映像ホール 定員＝各回20名

申込＝水墨美術館へ電話で申し込みください。

3月10日(火)申込開始。

・「出品作家に聞く 日本画のみどころ」

5月5日(火・祝)午前11時～ ※申込不要

会場＝展示室1・2

③ 当館学芸員によるギャラリートーク

6月6日(土)、20日(土) 各日午後2時～ ※申込不要

会場＝展示室1・2

※すべて当日有効の本展観覧券が必要です。

※ワークショップには別途材料費がかかります。詳細はウェブサイト等をご確認ください。

※申込不要のイベントは、満席になり次第入場を制限させていただく場合があります。

※関連行事の内容等は、変更または中止になる場合があります。

※最新の情報は水墨美術館ウェブサイトや公式SNS等でご確認ください。



図版 1. 横山大観《流燈》1909年 2. 奥原晞湖《富貴飛燕、芙蓉翡翠》1895年 3. 小川芋銭《内室》1917年
4. 橋本雅邦《維摩居士》1885年頃 5. 横山大観《秋の夕》1902年 6. 菱田春草《落葉》1909年
すべて茨城県近代美術館蔵

観覧料：一般1,500(1,200)円 大学生1,200(1,000)円 前売一般1,200円

※()内は20人以上の団体料金。 ※小・中学生・高校生及びこれらに準ずる方、各種障がい者手帳をお持ちの方は観覧無料。

※大学生券に該当する人の詳細については、ウェブサイト等でご確認ください。

【前売券販売所】4月28日(火)まで販売／富山県水墨美術館、富山県美術館、アーツナビ(富山県民会館、富山県教育文化会館、富山県高岡文化ホール、新川文化ホール)、ローソンチケット(Lコード560005)、チケットぴあ(Pコード687-410)

常設展示 本展会期中、本展の観覧券でご覧いただけます。

館内施設 茶室「墨光庵」(立礼席、薄茶とお菓子) 土日祝の午前11時～午後4時に営業
ミュージアムショップ「風花」 喫茶「自家焙煎・水出し珈琲」水の時計」

交通のご案内 【富山駅南口から】●市内電車(大学前行)「トヨタモビリティ富山 Gスクエア五福前(五福末広町)」下車、徒歩約10分

●地鉄バス④乗場から10、14、16系統「五福末広町」下車、徒歩約10分 / ⑦乗場から各系統「畑中」下車、徒歩約10分(最新の運行は富山地方

鉄道ウェブサイトにてご確認ください) ●タクシー約10分 【富山空港から】タクシー約25分

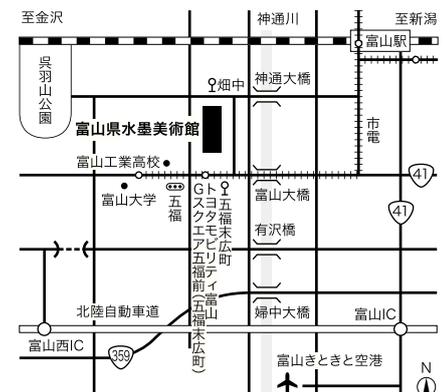
【北陸自動車道】富山IC、富山西ICから自動車約20分 【無料駐車場】乗用車165台、バス7台

富山県水墨美術館

THE SUIBOKU MUSEUM, TOYAMA

次回企画 没後20年 平川敏夫展 生命(いのち)の深淵へ 7月17日(金)～9月6日(日)

〒930-0887 富山市五福777 Tel. 076-431-3719 Fax. 076-431-3720 <https://www.pref.toyama.jp/1738/>



日本画とらべる

茨城県近代美術館
珠玉のコレクション



菱田春草《落葉》1909年 茨城県近代美術館蔵

好きは直観で決める派です。

2026年
4月29日(水・祝)～6月28日(日)

- 開館時間=午前9時30分～午後6時(入室は午後5時30分まで) ○ 休館日=月曜日(5月4日は開館)、5月7日(木)
- 主催=富山県、日本画とらべる展実行委員会(富山県水墨美術館、富山テレビ放送) ○ 共催=北日本新聞社
- 協賛=大谷製鉄、北日本物産、五万石、トナミ運輸、トヨタカラー富山、姫野精工所、リードケミカル(五十音順)
- 特別協力=茨城県近代美術館

さあ、知らなかった日本画を旅する季節です。

茨城県近代美術館は、昭和63年(1988)、水戸偕楽園のほとりに開館し、今日に至るまで国内外の近代美術の名品を多く収集・展示しています。特に明治期以降、日本画の新たな可能性を切り拓いた横山大観・菱田春草や、郷土ゆかりの小川芋銭・木村武山などをはじめ、近代日本画の発展に大きく貢献した作家たちの体系的なコレクションを収蔵し、日本美術史上の重要な作品を網羅しています。また、岡倉天心が創設し日本画の表現研究を推し進めた日本美術院も、一時期は北茨城の五浦に本拠地を置いており、茨城県は近代の日本美術を語るうえで欠かせない土地なのです。

本展では、茨城県近代美術館所蔵の珠玉のコレクションを通じて、近代日本画の輝かしい作品たちをご高覧いただきます。花鳥や風景、絵をとりまく物語など、様々な場所へ旅をするように、視点を変えながら日本画の世界をお楽しみください。



関連行事

① 講演会

「大観の愛した日本酒

～酔心山根本店・山根雄一氏トークショー」

5月2日(土) 午前11時～、午後2時～ ※申込不要

講師＝山根雄一氏(株式会社酔心山根本店 社長)

会場＝映像ホール 定員＝各回70名

② 日本画ワークショップ+スペシャルギャラリートーク

講師＝高島圭史氏

(東京藝術大学美術学部教授、日本美術院同人)

・「出品作家に学ぶ 日本画のつくりかた」

5月4日(月・祝)、5日(火・祝) 各日午後2時～

会場＝映像ホール 定員＝各回20名

申込＝水墨美術館へ電話で申し込みください。

3月10日(火)申込開始。

・「出品作家に聞く 日本画のみどころ」

5月5日(火・祝)午前11時～ ※申込不要

会場＝展示室1・2

③ 当館学芸員によるギャラリートーク

6月6日(土)、20日(土) 各日午後2時～ ※申込不要

会場＝展示室1・2

※すべて当日有効の本展観覧券が必要です。

※ワークショップには別途材料費がかかります。詳細はウェブサイト等をご確認ください。

※申込不要のイベントは、満席になり次第入場を制限させていただく場合があります。

※関連行事の内容等は、変更または中止になる場合があります。

※最新の情報は水墨美術館ウェブサイトや公式SNS等でご確認ください。



図版 1. 横山大観《流燈》1909年 2. 奥原晴湖《富貴飛燕・芙蓉翡翠》1895年 3. 小川芋銭《内室》1917年
4. 橋本雅邦《維摩居士》1885年頃 5. 菱田春草《春の朝》1902年 6. 菱田春草《猫に鳥》1910年
すべて茨城県近代美術館蔵

観覧料：一般1,500(1,200)円 大学生1,200(1,000)円 前売一般1,200円

※()内は20人以上の団体料金。 ※小・中学生・高校生及びこれらに準ずる方、各種障がい者手帳等をお持ちの方は観覧無料。

※大学生券に該当する人の詳細については、ウェブサイト等でご確認ください。

【前売券販売所】4月28日(火)まで販売／富山県水墨美術館、富山県美術館、アーツナビ(富山県民会館、富山県教育文化会館、富山県高岡文化ホール、新川文化ホール)、ローソンチケット(Lコード560005)、チケットぴあ(Pコード687-410)

常設展示 本展会期中、本展の観覧券でご覧いただけます。

館内施設 茶室「墨光庵」(立礼席、薄茶とお菓子) 土日祝の午前11時～午後4時に営業
ミュージアムショップ「風花」 喫茶「自家焙煎・水出し珈琲」水の時計」

交通のご案内 【富山駅南口から】●市内電車(大学前行)「トヨタモビリティ富山 Gスクエア五福前(五福末広町)」下車、徒歩約10分

●地鉄バス④乗場から10、14、16系統「五福末広町」下車、徒歩約10分 / ⑦乗場から各系統「畑中」下車、徒歩約10分(最新の運行は富山地方

鉄道ウェブサイトにてご確認ください) ●タクシー約10分 【富山空港から】タクシー約25分

【北陸自動車道】富山IC、富山西ICから自動車約20分 【無料駐車場】乗用車165台、バス7台

富山県水墨美術館

THE SUIBOKU MUSEUM, TOYAMA

次回企画 没後20年 平川敏夫展 生命(いのち)の深淵へ 7月17日(金)～9月6日(日)

〒930-0887 富山市五福777 Tel. 076-431-3719 Fax. 076-431-3720 <https://www.pref.toyama.jp/1738/>

